

H28 まちづくり懇談会 アンケート 累計
会場別参加者数の推移

地区	宮川	米沢	豊平	玉川	泉野	金沢	湖東	北山	中大塩	ちの	昼の部	夜の部	合計	内容
H26(人)	92	62	61	111	61	100	59	117	85	114	22	11	895	「財政構造改革」「(仮称)災害に強い支え合いのまちづくり条例」「縄文プロジェクトの推進」
H27(人)	96	67	67	100	69	84	50	86	81	86	15	-	801	「茅野市人口ビジョン」「茅野市総合戦略」
H28(人)	94	71	72	101	70	70	72	86	66	99	17	-	818	「茅野市の未来予想図」
H28アンケート回収数(枚)	58	37	49	51	45	42	41	51	37	58	3	-	472	
開催日	10/4	10/6	10/14	10/18	10/25	10/27	11/1	11/8	11/10	11/24	10/29	-	全11回	

※複数回答した人がいるため、合計が回答者数の合計と一致していない項目があります。

1 性別

	累計	
男	380	80.5%
女	90	19.1%
無回答	2	0.4%

472

2 年代

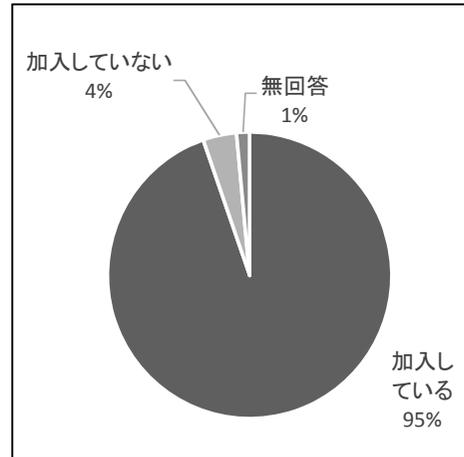
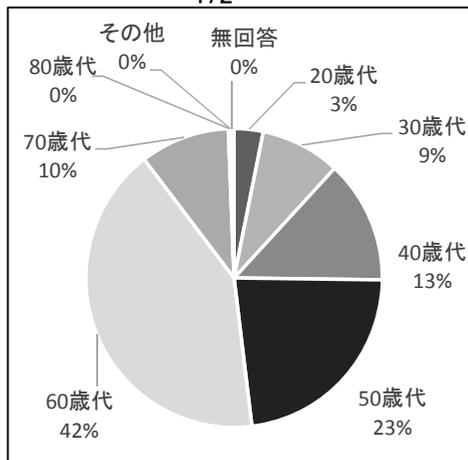
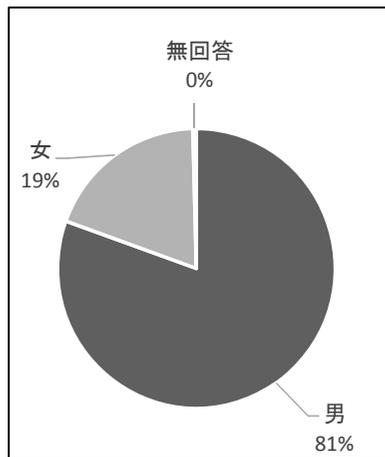
	累計	
20歳代	15	3.2%
30歳代	41	8.7%
40歳代	63	13.3%
50歳代	108	22.9%
60歳代	196	41.5%
70歳代	46	9.7%
80歳代	1	0.2%
その他	0	0.0%
無回答	2	0.4%

472

3 区・自治会に

	累計	
加入している	447	94.7%
加入していない	18	3.8%
無回答	7	1.5%

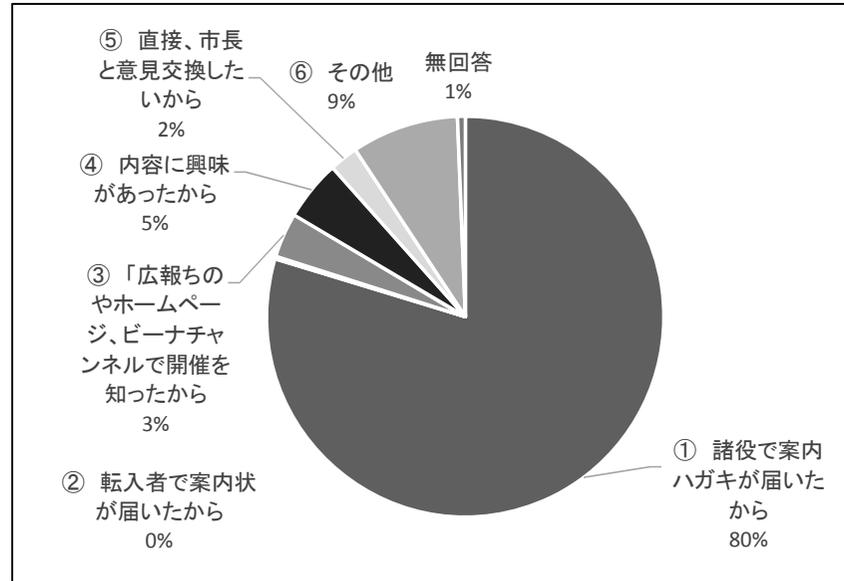
472



4 まち懇に来たきっかけ

	累計	
① 諸役で案内ハガキが届いたから	376	79.7%
② 転入者で案内状が届いたから	1	0.2%
③ 「広報ちのやホームページ、ビーナチャンネルで開催を知ったから	17	3.6%
④ 内容に興味があったから	23	4.9%
⑤ 直接、市長と意見交換したいから	11	2.3%
⑥ その他	41	8.7%
無回答	3	0.6%

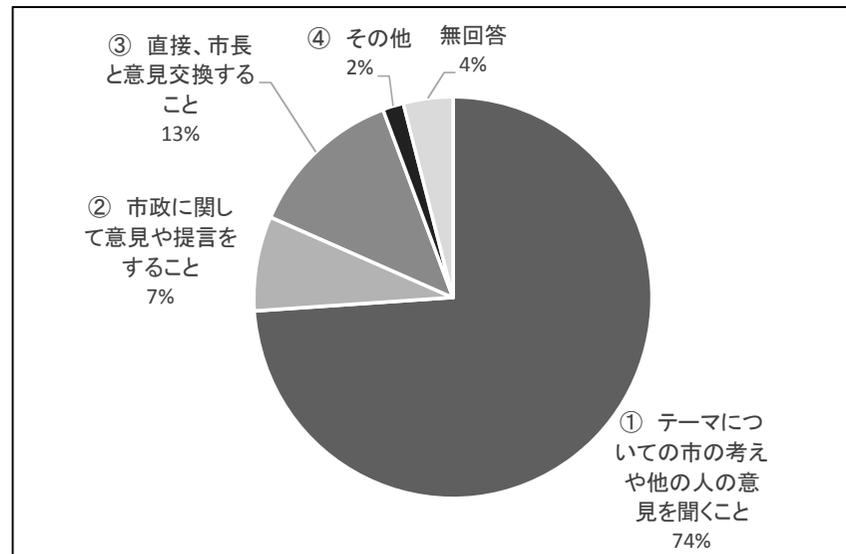
472



5 まちづくり懇談会に期待すること

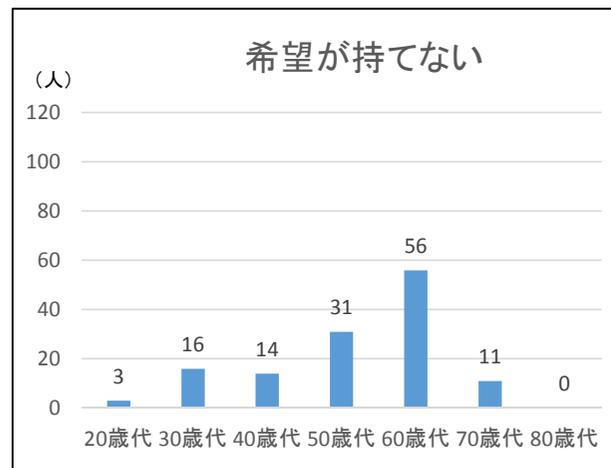
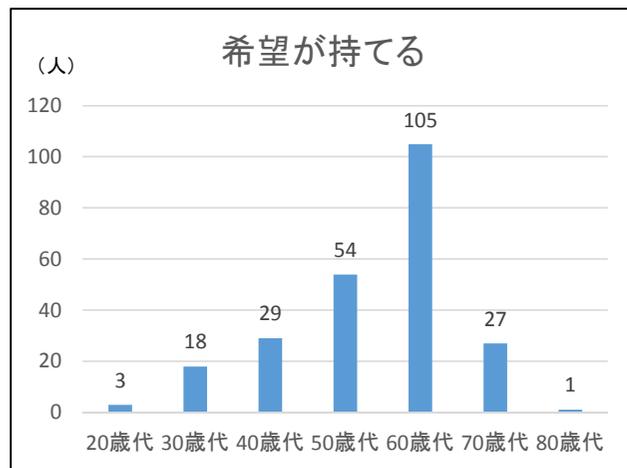
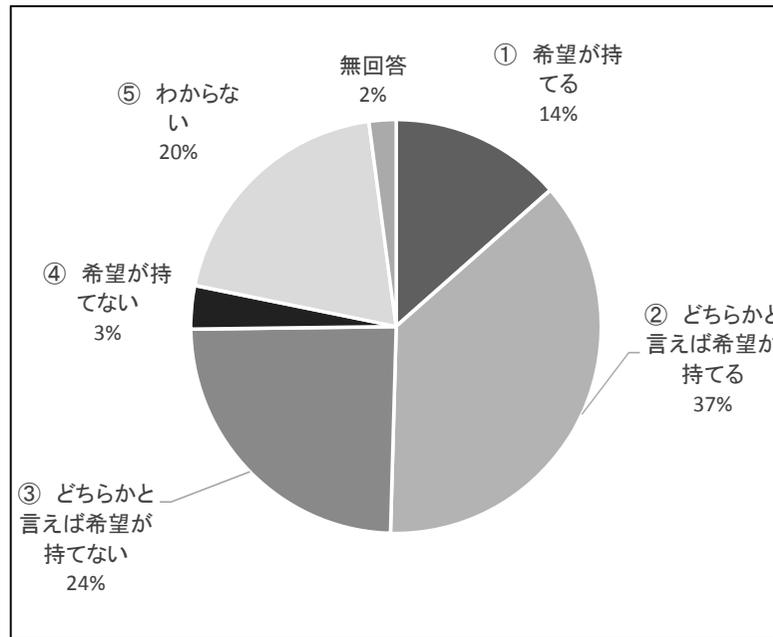
	累計	
① テーマについての市の考えや他の人の意見を聞くこと	349	73.9%
② 市政に関して意見や提言をすること	36	7.6%
③ 直接、市長と意見交換すること	60	12.7%
④ その他	8	1.7%
無回答	19	4.0%

472



6 あなたは、10年後の茅野市の未来について、現在と比べて希望が持てるか持てないか。

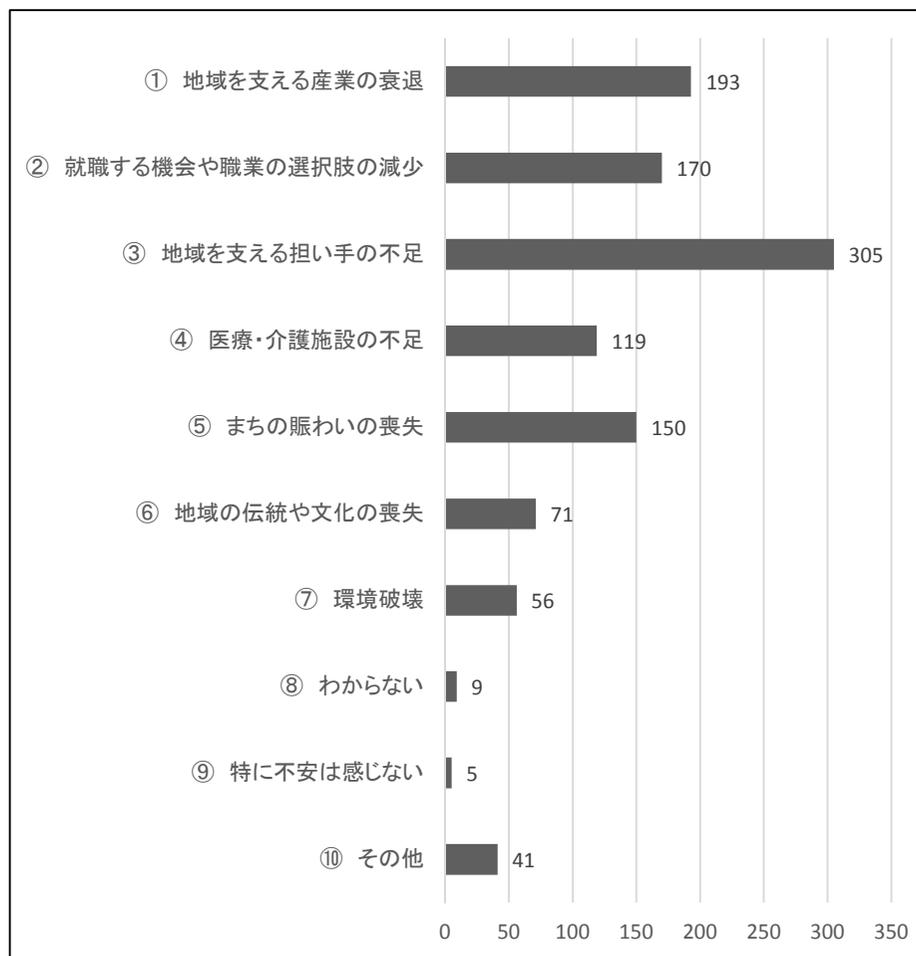
	累計	
① 希望が持てる	64	13.6%
② どちらかと言えば希望が持てる	174	36.9%
③ どちらかと言えば希望が持てない	115	24.4%
④ 希望が持てない	16	3.4%
⑤ わからない	93	19.7%
無回答	10	2.1%
	472	



7 茅野市の将来を考えた時に不安を感じるもの【複数回答】

	累計	
① 地域を支える産業の衰退	193	17.2%
② 就職する機会や職業の選択肢の減少	170	15.2%
③ 地域を支える担い手の不足	305	27.3%
④ 医療・介護施設の不足	119	10.6%
⑤ まちの賑わいの喪失	150	13.4%
⑥ 地域の伝統や文化の喪失	71	6.3%
⑦ 環境破壊	56	5.0%
⑧ わからない	9	0.8%
⑨ 特に不安は感じない	5	0.4%
⑩ その他	41	3.7%

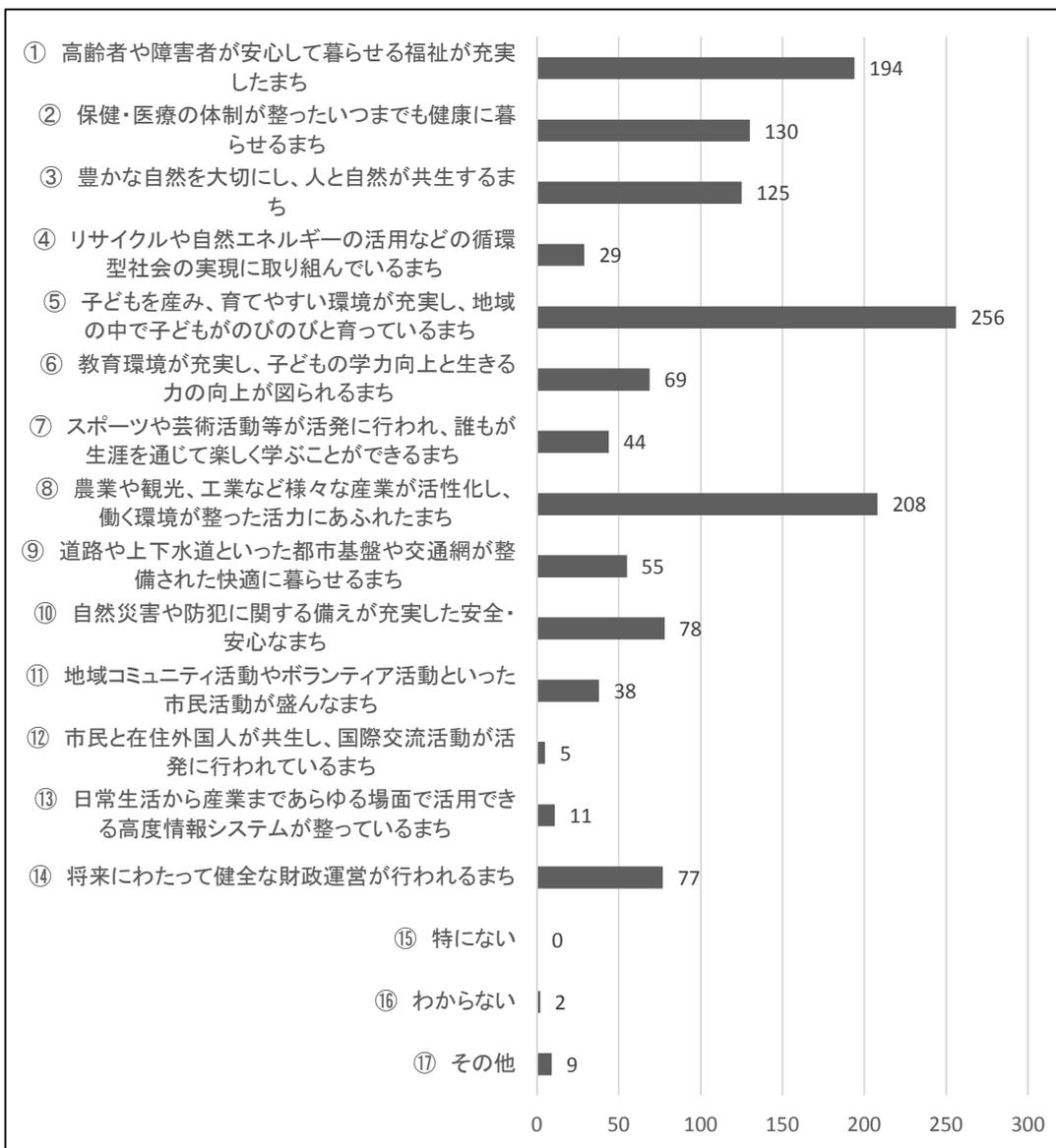
1119



8 10年後の茅野市が目指すべき“まち”の姿はどうあるべきか。【複数回答】

	累計	
① 高齢者や障害者が安心して暮らせる福祉が充実したまち	194	14.6%
② 保健・医療の体制が整ったいつでも健康に暮らせるまち	130	9.8%
③ 豊かな自然を大切に、人と自然が共生するまち	125	9.4%
④ リサイクルや自然エネルギーの活用などの循環型社会の実現に取り組んでいるまち	29	2.2%
⑤ 子どもを産み、育てやすい環境が充実し、地域の中で子どもがのびのびと育っているまち	256	19.2%
⑥ 教育環境が充実し、子どもの学力向上と生きる力の向上が図られるまち	69	5.2%
⑦ スポーツや芸術活動等が活発に行われ、誰もが生涯を通じて楽しく学ぶことができるまち	44	3.3%
⑧ 農業や観光、工業など様々な産業が活性化し、働く環境が整った活力にあふれたまち	208	15.6%
⑨ 道路や上下水道といった都市基盤や交通網が整備された快適に暮らせるまち	55	4.1%
⑩ 自然災害や防犯に関する備えが充実した安全・安心なまち	78	5.9%
⑪ 地域コミュニティ活動やボランティア活動といった市民活動が盛んなまち	38	2.9%
⑫ 市民と在住外国人が共生し、国際交流活動が活発に行われているまち	5	0.4%
⑬ 日常生活から産業まであらゆる場面で活用できる高度情報システムが整っているまち	11	0.8%
⑭ 将来にわたって健全な財政運営が行われるまち	77	5.8%
⑮ 特にない	0	0.0%
⑯ わからない	2	0.2%
⑰ その他	9	0.7%

1330



《その他意見、自由記載意見》

5 まちづくり懇談会に期待すること

④その他

話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> ・市長の話を聞くこと。 ・教育長さんのお話や小学校の校長先生や6年生の先生の生の学校の様子や、行事のお話を聞けてとても有意義でした。 ・地域の人の意見を聞く。 ・各地域の方々の話を聞くことで自分の考えなどの参考になる。 ・県対策（問題解決の）をもう少し具体的に示していただけると素晴らしいです。
大学	<ul style="list-style-type: none"> ・理科大については、内容も大事だが、学生にとって魅力あるまちづくりとなっていることも非常に大切。大学構内の環境作りに力を入れてほしい。（公園など）さらに、市全体を学生にとって魅力ある都市づくりとなるように努力してほしい。
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会に入らない人と入れない人の区別をして全戸入れるようになれば…。地域福祉の面で困ることがあると思う。 ・福祉について検討する機会としてほしい。
移住	<ul style="list-style-type: none"> ・私の近くに、70歳くらいのご夫婦が家を買って転入して来られる数が多くなっているようです。10年後の市のためには子どものいる若い家庭が多くなる方がよりよいと思いますが、子ども連れの転入には1年を過ぎたら祝い金10万とか考えることにより、転入を考えるとときの判断材料になると思いますので、考えてみてください。
通学路	<ul style="list-style-type: none"> ・北部中学校に通学する塩澤区の子どもたちが安全に通える通学路をお願いしたいと考えています。茅野市でワースト1だと言われていますが、なかなか改善が進みません。よろしく願いいたします。育成会と行政区で要望を出しますので、早急をお願いいたします。
河川	<ul style="list-style-type: none"> ・河川の整備。アシやヨシ、汚泥が溜まりすぎていて大水が出た場合、大きな災害につながるかととても心配。
参加者	<ul style="list-style-type: none"> ・参加メンバーを見ると当年の諸役の人が多く、毎年出ている人はわずかです。諸役の人が翌年も参加し、メンバーが増える事を期待します。 ・役なので仕方なく。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・期待することはない。 ・急には書く時間がない。

7 茅野市の将来を考えた時に不安を感じるもの

⑩その他

人口減少、若者の減少、高齢化	<ul style="list-style-type: none"> ・市内、地元に残る若い人がいなくなれば、地区の活性化がなくなる→人口減少が不安！小学校の存続、消防団員の確保、農業者の減少。 ・若者の減少。 ・進学、就職による若者の減少。 ・高齢化社会及び少子化。 ・高齢化 ・高齢化社会への対応。 ・高齢化による地区の衰退。 ・居住者の減少、極度過疎化、すべてが市街地と格差がある ・人口の減少、廃屋の増加
地域	<ul style="list-style-type: none"> ・行政よりの役が茅野市は多いのではない？H19に市長は他市よりも区長の負担が多いと話しましたが、今も変化はあるのか？今後非常に心配である！
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・防災に対する不安。 ・安全性（土砂災害等）
消防	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団活動が生活を苦しいものになっている。茅野市の消防団は、他市町村に比べて活動が多く負担が大きい。 ・少子高齢化、消防団の存続（加入者の減）
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・交通手段 ・公共交通 ・観光客も含め、高齢者等が市内を移動するための移動手段があまりに少ない、または高額であること。 ・交通システム、バス路線の充実 ・交通、買い物

交通	<ul style="list-style-type: none"> ・車必須の社会（公共交通の利便性が悪い、費用高い） ・高齢化による交通手段の利便性の確保が？（免許返納、体調の悪化などによって） ・公共交通（特にバス）路線、時間帯の充実を。老人が車を運転しないと生活できない。逆に老人の運転はとても危ない。
太陽光	<ul style="list-style-type: none"> ・霧ヶ峰に建設するソーラーに不安。 ・ソーラー発電による環境破壊。
雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・圏外、県外の若い人が茅野で働き、子どもを育てる選択をできることが出来るのか。
農業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業の衰退 ・特に山浦地区の農業の将来、観光の未来 ・特に農業
地域資源、観光	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の減少（自然、古い街並み、古民家など） ・観光地の衰退（せっかく良い環境があっても生かしきれていない） ・ホテルの衰退→白樺湖はどうした？
福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者（若年者）の未来が不安→就職、医療費
再開発	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前～宮川 道からよくなっても店がない。再開発が遅すぎた。
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・教育
通学路	<ul style="list-style-type: none"> ・通学する子どもの安全確保は？
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・関心のない人が多い

8 10年後の茅野市が目指すべき“まち”の姿はどうあるべきか。

⑰その他

まちの姿	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が住んでくれるところ。 ・若者が逃げないまち。 ・各々が楽しんで喜ぶまち ・すべての項目に対して平均以上ではなく満足度が4.5以上になることが必要。 ・6市町村の合併 ・埴原田前橋下の河川敷ですが、子どもたちが水と遊べるような水辺作りをしてください。 ・産業があることで、増収につながり、町の活性化にもなる。 ・茅野駅にペッパーを配置して観光客に対応。
------	---

9 自由記載

まち憩	<ul style="list-style-type: none"> ・役以外の方がどれだけ参加しているのか疑問です。将来を担う世代（20代、30代）がもっと参加してほしいです。 ・まち憩に対して年数回、年代別などの必要があるように感じる。年代の高い一地域の人ばかりが質問をしているようでは、今後続けていく意味は薄い。 ・市長や市の方がしゃべりすぎ。本来のまちづくり懇談会は市長の意見を聞く場では？意見を聞く時間を取ってほしい。皆さん忙しい中時間を作って来ています。 ・数年前からイスが利用されるようになりました。整頓されたイスに座っての懇談会、窮屈な感じで懇談会というより市長の講演会（後援会）のような雰囲気です。大いに語るにはほど遠いかと思います。 ・プレゼン→スライドでは見にくい資料がある。手元へ資料を用意してほしい。 ・一部説明が分からない。
施策	<ul style="list-style-type: none"> ・市民がもっと市政に関心を持てるような市作りをしてもらいたい。 ・市政の計画プロジェクト名を御柱計画として企画をするとほとんどの人が組織を理解すると思います。（文句を言わずひたすら目標を達成する） ・様々な取り組み提案は素晴らしいが、市がどれだけ後押ししてくれるのか不安。実行力を期待したいです。 ・明るく未来を見つめ語るのみでなく、人口減少→税収減→どこかで行政サービスを切ることが必要になると思う。市の経営者としてその時のことも考えていてください。 ・企業は豊かになっても生活は苦しい。諸外国に比べ、生活レベルが豊かとは言えない。政治が変わらないと市民は豊かにならない。インフラのみの整備だけの豊かさはいらぬ。

<p>施策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・失敗ができないまちづくりで、正解がない、正解へたどりつく道が分からない中で、頑張っていくしかないと思います。良いと思ったことを地道にゆっくりでいいので確実にやっていくようにお願いします。 ・茅野市の未来を語るのにテーマとしたことが、どれもこのまちでもうたっているように思えます。住民が暮らしやすいまちを目指すには、どれも心に響きません。行政と住民等とのパートナーシップを進めてきましたが、そのことで行政の力が弱くなってしまっていないでしょうか。住民に“地域が大事”だと説いて、様々な役割、参加を求めています。ぜひこれからは住民地域のニーズをしっかりと捉えたうえで、行政の力を高いレベルで発揮してもらいたいです。 ・子どもが増える、増やすための施策が乏しい。結婚・婚活についても福祉について、子どもが学ぶ機会が施策に上がらないことが悲しい。 ・金沢地区の若い人の人口が増えたらいいなと思います。 ・施策推進にあたり、現場の声を十分に吸い上げていくこと。また、財政面・人材面での裏付けを保障することをお願いしていきたい。 ・財政について次世代に借金を回さないように。 ・縄文遺跡を世界遺産に登録することを検討してください。 ・市政とは違う意見になりますが、長野県内にも松本、長野にスポーツのプロチームが出てきて、特に松本は活気づいていると思います。松本も2002年サッカーW杯前にアルウィンができて、山雅も下のカテゴリーから上がってJ1までいきました。長野にも素敵なスタジアムができて今盛り上がっている最中です。茅野にも広大な運動公園があるので、立派な施設を造りFCアビエスを茅野市の目玉にすればだいぶ変わるのではないかと。 ・茅野市の観光を強く宣伝していくため「ゆるキャラ」を作る（例：仮面の女神、ビーナスちゃんとか、お柱くん） ・これと言った特産品がない。寒天の他に、茅野にはこんなおいしいものがあるよーと言うものがほしい。 ・諏訪圏合併への動きがあるが、個人的には「茅野市」を存続させたい。経済的には「将来必ず必要になる」と言われたが、諏訪の各市が単独で行政を行うのは本当に無理か？各市の独自性を失いたくない。
<p>大学</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・大学に短大を作ると人気が出ると思う。 ・諏訪東京理科大学の学力レベルを上げる策がありますか？金額は魅力ですが、それ以上の付加価値が必要。 ・理科大生の地元の誘導（条件付奨学金等）と受け皿となる企業の振興策を。 ・4年制大学の学生目線でのまちづくりで若者が居つく市にしてほしい。今は駅から大学までの間、4年生大学のある若者のまちという感じがしない。30年前の東松山市、高坂町は、田舎まちではあったが、大学中心のまちづくりをしていた。 ・理科大に将来健康福祉学部を設置し（県福祉大学校と連携）福祉特区化し附属社会福祉施設設置、介護器材の開発（諏訪中央病院連携）、地産地消の健康づくり（八ヶ岳農業実践大学校連携）。地元就職率UPとなるよう願う。
<p>市民活動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・あれもこれもと全てを充実させることは難しいこと。日本の他の自治体の状況も踏まえて、茅野市の特色、売りをどこにするか。よく検討してほしい。市民力を生かすネットワークづくりを進めていきましょう。市民全員がゆいわーく茅野を訪れることから始めよう。 ・難しい課題ばかりです。良きアドバイザーを招いていけるかどうかと思う。
<p>地域</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市政と地区が今まで以上に連携し、中身のある成果を上げてほしい。 ・玉川コミュニティの活動が素晴らしいと思いました。玉川小の教育の内容を誇れること、素晴らしいと思いました。応援したいです。 ・コミュニティの所長さんが良い方でありがたいです。 ・市の職員も地域の一市民として積極的に地域活動に積極的に取り組みをし、率先して行動していってくれると更に地域が盛り上がるのではないかと思います。 ・高齢化の中で地域を支えるボランティア活動は、ますます重要な時代を迎えるが、活動の担い手は十分とは言えず、困難も増えている。市政全体で体制の確立、再構築が必要。退職市職員の活用を含め検討を望むものです。 ・財源、権限を区に移せるものを検討し、実施する。 ・区・自治会への支援を厚くしてほしい。今の支援では少ない。 ・自治会への協力は、自治会運営で重要であり、防災、防犯への取り組みに直結するので、市としても自治会への支援をお願いしたい。

地域	<ul style="list-style-type: none"> ・大地震→避難場所（学校）へは、区・自治会へ未加入の人しか入れなかったというようになりそう…区・自治会のあり方を考えてください。 ・自主防災組織で活動中に事故があったときの責任はどうするの？ ・未入区の人たちが増えていることが気になります。 ・特に御柱の行事多すぎ。こどもが大きくなった人がもっとやるべき。育児世代に負担かけすぎ。 ・関わる人のリーダーシップや、思いやる気持ちを持って取り組んでほしい。（現状は人にもよるが、いまいち一生懸命さが足りないように感ずることが多々ある。）
消防	<ul style="list-style-type: none"> ・消防団活動を縮小してほしい、時代に合っていない、ボランティアの域を超越している、退団できない、分団長を経験した市長ならわかるはず、何事も伝統ですませてほしくない。 ・市のHPに消火栓の載った地図を公開してほしい。イクメンになれと言うけど、地区の行事、消防の行事が多すぎてなれる程家にいれない。 ・消防団の人が少なく新しく入れたいのですが、地区の若者が少なく新しい人が入ってくれない。このままだと消防団はおじいさんの集まりになりますよ。
交通	<ul style="list-style-type: none"> ・夕方の交通網の充実。例えば、6時頃～8時頃の時間帯に最低一便くらいのバスは可能か？ ・高齢者の買い物にそこまで行くバスがなくなるのではと心配しています。（現在でも運行数が減っています。） ・ゆいわーく茅野に行く老人等の交通は考えているのか。 ・高校生が茅野駅まで通学する中で、自宅から駅までのバスの本数がものすごく少ないため、結局車で送迎になってしまうので、駅が混雑してしまう。バス通学ができるよう朝と夕方のバスの本数をもっと増やしてほしい。 ・最近ニュースで高齢者の自動車での死傷事故が多発しています。体力等衰えを感じている高齢者が免許を返納する代わりに便利に公共の乗り物を使えるように取り組みをしてほしい。 ・駅前の状況（駅ビル）、公共のバス（交通網）が学生が集まる街ではない。帰りの茅野駅のお迎え渋滞がひどいです。 ・諏訪全体の問題として高校生、高齢者の自転車の乗り方が悪いと思われる。
太陽光	<ul style="list-style-type: none"> ・四賀ソーラーに対しては断固とした姿勢を通していただけたい。市長意見は、しっかりと地元の気持ちを受け止めた毅然としたもので大変感謝しております。 ・霧ヶ峰が計画しているソーラー発電を絶対反対してください。四河川の氾濫も心配ですし、大清水の貴重な水を大事にしてください。 ・農地のソーラー化を茅野市独自で止める。
環境	<ul style="list-style-type: none"> ・外来植物の駆除をチラシを配るだけでなくもっと積極的にやってほしい。 ・外来植物について、知らない人が多いと思うし、私自身も知らないので市民にもっと知ってもらうようにしてはどうでしょうか。 ・浄化槽の管理をもっと厳しくやってほしい。地下水汚染が心配。
雇用	<ul style="list-style-type: none"> ・とにかく働く場所を。 ・茅野市だけのことではないが、日本全体として安定した職場の確保が必要。派遣労働者など不安定な労働者の増加で、若者は結婚もままならず、当然子供は増えない。安定した雇用の創出なくしてこれからの日本の未来はないと思います。茅野市は他の自治体に先立って、安定した雇用の場を提供していくモデル地区を目指すべきだと思います。 ・若者が都会の大学へ行き、都会での就職が増えていて、Uターン就職する若者が減っているの、何か対策が必要だと思います。 ・高齢者も大切ですが、これからの茅野市を担う若者を（障害者含む）もっと暮らしやすい、働きやすい環境にしてください。（自立できる社会） ・企業体験を（当時1回ほど）多くしても良いと思う。仕事のイメージと実際のギャップを埋められる。
移住	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者を多く取り入れる補助金などの導入。 ・都会から移住者を呼び込むには、農地を安く貸してやることと、子育てしやすい地にすることが大切だと思います。自然の中で子育てができることを売りにしたら良いかと思います。都会の人が求めていると思います。 ・人口減少が進む中、海外からの受け入れ方によって、安心できるまちづくりが壊されていないように、どうするかを良く考えて受け入れてほしい。

農業・農地	<ul style="list-style-type: none"> ・空き農地の活用を考えてほしい。 ・農地の乱開発をやめる（アパート、太陽光発電等で農地が歯抜け状態である） ・農業の自動化（ハウスの自動、水の管理など）、IOT（気候、温度管理など）を取り入れて、DENSOの農業関係との協業。農地を貸すとか。 ・10年前と比べて鹿害がひどくなったことに関して、将来どうするかを知りたい。
観光	<ul style="list-style-type: none"> ・蓼科は企業の保養所で観光客を保ってきたところ。昨年大型企業の保養所が5～6軒休業していました。2軒が営業を再開しましたが、来年3月末までに5軒の保養施設が終わります。現在、約30軒の保養所が25軒になります。一番多かった年で105軒、おそらく3～5年の間に20軒を切っていくと思います。世の中の流れは保養所は減少していきますが、これから先は管理人の定年とともに、保養所も終わりにっていくと思います。 ・茅野市のブランディングに期待。また、ニーズの把握のための、マーケティングが必要では。観光資源が活かされてないのか、来たいと思わせるものがないのか。高齢者や自然が好きな人はいいが、若い人が来て立ち寄れる娯楽施設や店舗が少ないと思う。 ・白樺、蓼科の観光地がほとんど営業していない店が多い。
学校・教育	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫だけでなく、高まで含めた方が良いのでは？ ・小学校の児童数のアンバランスが小中一貫教育を進めるうえで、ネックにならないか。 ・市民ひとりひとりの持っている（得意分野の）力がより発揮できるような茅野市であつたらいいと思います。教育の分野で大きな柱を立てるのは大切ですが、そのことによって先生方が身動きがとれなくなることはないようお願いします。先生方ひとりひとりの力がのびのびと発揮できるようにしてください。それがたくましい子どもを育てるといえることになると思います。 ・小学校図書室を地域住民も利用できると好都合。 ・豊平小のトイレがくさいので、きれいにしてほしい。（洋式トイレが大渋滞） ・中学校の部活について永中のことですが、市の4校の中で初めてやる事を永中が試しにやっているようですが、部活時間も4校同じような練習時間をもうけてほしい。中体連の練習をがんばっているのに、社体以外のところは、5時で終わりあと3校はもう少し長く練習ができる様です。同じ様に練習時間がもてるように考えてほしいです。 ・中学生の自転車通学を許可してほしい。
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代への色々な面での待遇をもっと良くしてほしい（医療費など高3まで）などしてもらえたら助かります。保護者会長（保育園）をさせていただいていますが、正直なところ仕事を休んでまでしなくてはならない準備（夏祭り）や行事が多くて、正社員なのに大変です。こどものためなのも分かりますが少し疑問です。 ・子育て世代がどんどん定住してきていると思うので、キッズプロジェクトのような体験型を増やし、企画があることを広めていただきたいです。 ・市民全員住みやすいまちは大賛成ですが、無理なこと。せめて人々が笑顔に子育てしやすいまちが良いですね。子どもには希望をもらえます。
通学路	<ul style="list-style-type: none"> ・ほやの木街道の電灯が何年も前から切れっぱなしです。これは節電ですか？夜間に帰ってくる学生たちの安全を考えてあげてください。 ・通学路の安全性について。子どもたちが安全に登下校できるような道路整備を早急に進めてほしい。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・道路を広く安全な道に。（橋や歩道など） ・山浦地区の活性化を特に進めてほしい。はちまき線の未接続を完成させることにより、流れを変えてほしい。 ・交通渋滞の解消→道路の整備、歩行者の安全が確保された道路 ・幹線道路の雪を業者をお願いするとき、歩道を山にしないようお願いしたい。
施設	<ul style="list-style-type: none"> ・市の施設（プール、スケート場、温泉など）の、子どもの利用料金を無料にしてほしいです。